



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月8日

上場会社名 株式会社第一興商 上場取引所 東
 コード番号 7458 URL <https://www.dkkaraoke.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 保志 忠郊
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 西原 康尚 (TEL) 03 (3280) 2151
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	94,507	35.2	9,690	614.3	10,238	330.6	9,001	74.5
2022年3月期第3四半期	69,927	△1.8	1,356	—	2,377	—	5,157	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 9,375百万円(85.9%) 2022年3月期第3四半期 5,042百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	164.88	164.62
2022年3月期第3四半期	94.51	94.37

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	186,458	108,255	57.3
2022年3月期	180,389	105,160	57.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 106,822百万円 2022年3月期 103,543百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	56.00	—	57.00	113.00
2023年3月期	—	56.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	57.00	113.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	126,500	33.5	12,000	—	12,800	—	10,000	92.4	183.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2023年3月期3Q	54,734,200株	2022年3月期	54,734,200株
2023年3月期3Q	141,302株	2022年3月期	141,260株
2023年3月期3Q	54,592,920株	2022年3月期3Q	54,570,086株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 4「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績の状況	2
(2) 財政状態の状況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(追加情報)	10
(四半期連結損益計算書関係)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年12月31日、以下「当第3四半期」という)におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症による経済活動への影響が徐々に弱まり、個人消費を中心に正常化への動きがみられたものの、急激な為替相場の変動や物価の高騰などにより、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当カラオケ業界におきましては、前期にまん延防止等重点措置とそれに伴う要請等が解除されたことにより、ナイト市場・カラオケボックス市場ともに多くの店舗が通常営業を再開いたしました。ビジネス立地や深夜帯の集客など一部にはコロナ禍の影響が継続したほか、第7波・8波といった感染の再拡大もみられたものの、行政による営業制限等は行われず、全体として回復傾向で推移いたしました。

このようななか、各事業におきまして諸施策を実施した結果、当第3四半期の業績は、売上高は94,507百万円(前年同期比35.2%増)となり、営業利益は9,690百万円(同614.3%増)、経常利益は10,238百万円(同330.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は9,001百万円(同74.5%増)となりました。

なお、前連結会計年度を対象とした雇用調整助成金や時短協力金をはじめとする各種給付金を「助成金収入」として、2,920百万円(前年同期は11,554百万円)を特別利益に計上しております。

(百万円)

	前第3四半期 累計	当第3四半期 累計	対前期増減	増減率
売 上 高	69,927	94,507	24,580	35.2%
営 業 利 益	1,356	9,690	8,333	614.3%
経 常 利 益	2,377	10,238	7,861	330.6%
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,157	9,001	3,843	74.5%

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(業務用カラオケ)

当事業におきましては、各種営業制限の無い状況が継続したことに伴う顧客店舗の再開や新規開店の増加により、主力市場であるスナック・バーなどのナイト店舗を中心に、事業環境は回復傾向で推移いたしました。

このようななか、当期の重要課題としておりますDAM稼働台数回復のため、カラオケ機器導入を支援するウェブサイト「カラオケの窓口」を前期に開設したことに加え、4月には物件情報サイト「よるみせナビ」を開設したほか、介護施設等のエルダー市場においてはオンラインイベントを開催するなど、当社の強みである対面での営業に加えてウェブも活用した営業体制の構築に努めました。

また、前期にリリースいたしました、ライブの臨場感をそのままカラオケ店で体感できる新コンテンツ「ライブビュー!」をはじめ、ライブ映像・アニメ映像・ミュージックビデオなどの映像コンテンツをさらに充実させることにより、カラオケDAMの商品力強化を図りました。

さらに、10月にはDKエルダーシステム専用の最新機種として、レクリエーションの進行プログラムを自動作成・再生する「おまかせレク」や、進行プログラムを複数の施設と同時ペアリングで共有し、遠隔操作することができる「リモートセッション」など、介護施設職員の業務負荷軽減に繋がる機能を新たに搭載した「FREE DAM LIFE(フリーダムライフ)」を発売し、エルダー市場における旧機種からの入替えと新規顧客の獲得を図りました。

以上の結果、売上高は前年同期比10.2%の増収となり、営業利益は前年同期比18.7%の増益となりました。

(百万円)

	前第3四半期 累計	当第3四半期 累計	対前期増減	増減率
売 上 高	39,383	43,414	4,030	10.2%
営 業 利 益	9,182	10,898	1,715	18.7%

(カラオケ・飲食店舗)

当事業におきましては、カラオケ13店舗、新業態（あまつ、ぎん天）を含む飲食9店舗の出店、及びカラオケ3店舗、飲食10店舗の閉店を行ったことにより、当第3四半期末の店舗数はカラオケ513店舗、飲食174店舗となりました。

コロナ禍に伴う各種要請が前期で解除されたことにより、店舗の集客は期初から回復傾向で推移いたしました。ビジネス立地や深夜帯の集客など一部でコロナ禍の影響が継続したほか、第7波・8波といった感染拡大時には回復基調の一時後退もみられたものの、当第3四半期を通じて通常営業ができたことにより、既存店売上高はコロナ禍以前に比べカラオケ店舗で約25%減（前年同期比では約100%増）、飲食店舗で約20%減（前年同期比では約130%増）の水準まで回復いたしました。

このようななか、ビッグエコー店舗においては最上位機種である「LIVE DAM Ai（ライブダムアイ）」を全室に設置した店舗を44店舗とするなど設備面での強化を図り、顧客満足度向上に努めました。また、SNS（Twitter・TikTok）によるカラオケの楽しさの訴求をはじめ、6月より全店で開始した「最強学割」を打ち出すことなどにより、若年層の集客にも注力いたしました。

以上の結果、売上高は前年同期比108.8%の増収となり、709百万円の営業損失となりました。

(百万円)

	前第3四半期 累計	当第3四半期 累計	対前期増減	増減率
売上高	17,834	37,240	19,406	108.8%
営業利益	△6,914	△709	6,205	—

(音楽ソフト)

当事業におきましては、イベント・コンサートが徐々に再開され始めるなど、音楽業界にも活気が戻りつつあるなかで、CD・DVD等の商品販売が回復傾向で推移したほか、TV番組制作事業も堅調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は前年同期比7.3%の増収となり、営業利益は前年同期比163.1%の増益となりました。

(百万円)

	前第3四半期 累計	当第3四半期 累計	対前期増減	増減率
売上高	4,359	4,680	320	7.3%
営業利益	47	124	77	163.1%

(その他)

当事業におきましては、新たな収益の柱とすべく「ザ・パーク」ブランドで展開するパーキング事業が堅調に推移し、当第3四半期末時点で約2,000施設、約24,500車室に拡大いたしました。

以上の結果、売上高はパーキング事業収入の増加などの影響により前年同期比9.9%の増収となり、営業利益は前年同期比57.4%の増益となりました。

(百万円)

	前第3四半期 累計	当第3四半期 累計	対前期増減	増減率
売上高	8,350	9,173	822	9.9%
営業利益	769	1,211	442	57.4%

(2) 財政状態の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ6,068百万円増加し、186,458百万円となりました。

増減の主なものとしては、流動資産の現金及び預金が2,087百万円、受取手形及び売掛金が1,582百万円、棚卸資産が1,273百万円及びその他に含まれる前渡金が924百万円それぞれ増加しております。

負債の部につきましては、前連結会計年度末に比べ2,973百万円増加し、78,203百万円となりました。

増減の主なものとしては、流動負債の支払手形及び買掛金が1,313百万円及びその他に含まれる未払金が1,356百万円それぞれ増加しております。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末に比べ3,094百万円増加し、108,255百万円となりました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加9,001百万円及び剰余金の配当による利益剰余金の減少6,168百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年8月8日に発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	68,214	70,301
受取手形及び売掛金	4,127	5,710
棚卸資産	7,596	8,869
その他	4,796	5,983
貸倒引当金	△457	△392
流動資産合計	84,277	90,472
固定資産		
有形固定資産		
カラオケ賃貸機器（純額）	6,294	6,608
カラオケルーム及び飲食店舗設備（純額）	10,380	10,810
土地	40,341	40,107
その他（純額）	5,970	6,352
有形固定資産合計	62,987	63,878
無形固定資産		
のれん	996	893
その他	5,861	5,987
無形固定資産合計	6,858	6,881
投資その他の資産		
投資有価証券	4,507	4,892
敷金及び保証金	13,449	13,574
その他	8,375	6,900
貸倒引当金	△64	△141
投資その他の資産合計	26,267	25,225
固定資産合計	96,112	95,985
資産合計	180,389	186,458

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,614	3,928
短期借入金	6,098	16,011
未払法人税等	1,985	1,988
賞与引当金	1,141	1,137
その他	9,817	11,508
流動負債合計	21,658	34,575
固定負債		
長期借入金	41,705	31,274
役員退職慰労引当金	993	1,070
退職給付に係る負債	7,846	8,183
その他	3,024	3,099
固定負債合計	53,570	43,628
負債合計	75,229	78,203
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,350	12,350
資本剰余金	4,114	4,211
利益剰余金	87,733	90,566
自己株式	△570	△571
株主資本合計	103,628	106,556
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	606	856
土地再評価差額金	△733	△733
為替換算調整勘定	69	143
退職給付に係る調整累計額	△26	△0
その他の包括利益累計額合計	△84	265
新株予約権	219	273
非支配株主持分	1,397	1,158
純資産合計	105,160	108,255
負債純資産合計	180,389	186,458

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	69,927	94,507
売上原価	47,013	61,425
売上総利益	22,913	33,082
販売費及び一般管理費	21,557	23,391
営業利益	1,356	9,690
営業外収益		
受取利息	17	17
受取保険金	339	206
受取協賛金	201	142
その他	789	530
営業外収益合計	1,347	897
営業外費用		
支払利息	154	130
為替差損	33	53
解約違約金	57	37
その他	80	128
営業外費用合計	326	349
経常利益	2,377	10,238
特別利益		
固定資産売却益	22	78
負ののれん発生益	-	112
助成金収入	11,554	2,920
特別利益合計	11,577	3,110
特別損失		
固定資産処分損	40	56
減損損失	131	117
投資有価証券売却損	0	-
投資有価証券評価損	108	-
新型コロナウイルス関連損失	6,452	-
特別損失合計	6,733	173
税金等調整前四半期純利益	7,221	13,175
法人税、住民税及び事業税	1,640	2,799
法人税等調整額	403	1,350
法人税等合計	2,044	4,150
四半期純利益	5,176	9,025
非支配株主に帰属する四半期純利益	19	24
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,157	9,001

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	5,176	9,025
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△159	249
為替換算調整勘定	△8	74
退職給付に係る調整額	32	25
その他の包括利益合計	△134	350
四半期包括利益	5,042	9,375
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,022	9,351
非支配株主に係る四半期包括利益	19	24

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	業務用 カラオケ	カラオケ・ 飲食店舗	音楽ソフト	計				
売上高	39,383	17,834	4,359	61,577	8,350	69,927	—	69,927
セグメント利益又は 損失(△) (営業利益又は営業 損失(△))	9,182	△6,914	47	2,315	769	3,084	△1,728	1,356

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、パーキング事業、不動産賃貸及びBGM放送事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△1,728百万円は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	業務用 カラオケ	カラオケ・ 飲食店舗	音楽ソフト	計				
売上高	43,414	37,240	4,680	85,334	9,173	94,507	—	94,507
セグメント利益又は 損失(△) (営業利益又は営業 損失(△))	10,898	△709	124	10,313	1,211	11,525	△1,834	9,690

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、パーキング事業、不動産賃貸及びBGM放送事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△1,834百万円は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(追加情報)

固定資産の減損及び税効果会計等におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響について、2023年3月期を通じて緩やかに改善し、中期的にはコロナ禍以前の水準まで業績が回復するものと仮定し、将来キャッシュ・フロー及び繰延税金資産の回収可能性等の見積りを行っております。

なお、前連結会計年度末の仮定について重要な変更を行っておりません。

(四半期連結損益計算書関係)

助成金収入

新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言の発出に伴い、従業員の出勤停止期間中の給料等を対象として助成を受ける雇用調整助成金のほか、国及び地方自治体等から給付を受ける助成金等を「助成金収入」に計上しております。

新型コロナウイルス関連損失

新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言の発出に伴い、対象地域の従業員を出勤停止（特別休暇）とする措置を講じました。また、政府及び地方自治体からの要請に応じ、当社運営店舗及び顧客運営店舗においては臨時休業及び時短営業を行いました。

これらの事象に対応し、従業員の出勤停止期間中の給料等、休業期間中の当社運営店舗の固定費及び業務用カラオケ機器の賃貸等に係る固定費を「新型コロナウイルス関連損失」に計上しております。

(重要な後発事象)

(株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更)

当社は、2023年2月8日開催の取締役会において、株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更について決議いたしました。

(1) 株式分割の目的

株式分割を行い、投資単位当たりの金額を引き下げることにより、当社株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図ることを目的としております。

(2) 株式分割の方法

2023年3月31日を基準日として、同日最終の株主名簿に記録された株主の所有する普通株式を、1株につき2株の割合をもって分割いたします。

(3) 株式分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	54,734,200株
今回の分割により増加する株式数	54,734,200株
株式分割後の発行済株式総数	109,468,400株
株式分割後の発行可能株式総数	400,000,000株

(4) 株式分割の日程

基準日公告日	2023年3月1日
基準日	2023年3月31日
効力発生日	2023年4月1日

(5) 1株当たり情報に及ぼす影響

前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合における1株当たり情報の各数値はそれぞれ次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
1株当たり四半期純利益	47円25銭	82円44銭
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	47円18銭	82円31銭

(6) 株式分割に伴う定款の一部変更

① 定款変更の理由

今回の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づき、2023年4月1日をもって当社の定款第5条の発行可能株式総数を変更いたします。

② 定款変更の内容

変更の内容は、次のとおりであります(下線は変更部分)。

現行定款	変更後定款
(発行可能株式総数) 第5条 当社の発行可能株式総数は、 200,000,000株とする。	(発行可能株式総数) 第5条 当社の発行可能株式総数は、 400,000,000株とする。

③ 定款変更の日程

効力発生日 2023年4月1日

(自己株式の取得)

当社は、2023年2月8日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議いたしました。

(1) 取得理由

資本効率の向上と株主還元を目的とするため

(2) 取得する株式の種類

当社普通株式

(3) 取得する株式の総数

4,000,000株(上限)

(4) 取得価額の総額

6,000百万円(上限)

(5) 取得する期間

2023年4月3日から2023年9月30日まで

(6) 取得方法

東京証券取引所における市場買付